



凡例

輪郭構造
 滑落量と側方量
 新鮮なまたは開析されていない冠頂をもつ滑落量
 部分的に開析されている冠頂をもつ滑落量
 冠頂が著しく開析された滑落量
 冠頂が丸味をおびて不明瞭になった滑落量
 開析されて無くなってしまった冠頂・滑落量の推定復元位置
 共通の冠頂をもち、互いに反対方向を向く滑落量
 中・緩斜の穴れ整すべり面が地表に露出し、滑落量にあたる急崖を呈しない斜面、冠頂は緩斜の反対側斜面とすべり面との交線である
 後方量、多重種等
移動体の輪郭・境界
 後方に滑落量があり、移動体の輪郭が明瞭なし判定可能
 後方の滑落量は明瞭であるが、移動体の輪郭の判定が困難
 滑落量はほとんど開析されてしまったが過去の移動体の一部(不安定土塊)が残存している
 ほかの移動体や堆積物におおわれた部分
 斜面体の移動の初期状態、基岩から分離していないとしても不安定域・移動域と推定される範囲
 斜面移動体かどうか判定できない山体・小丘
 脚部線・削制域下限
内部構造
 二次・小滑落量、層線の開析程度に応じて輪郭構造の場合と同様に表わす
 サブユニットの境界、内部(二次)移動体輪郭
 移動体内の小尾根
 幅の狭い溝状凹地、亀裂
 幅の広い溝状凹地、亀裂
 懸崖地の前縁
 横行亀裂
 溝状凹地・小谷底線、一は谷の出口または谷底の傾斜方向
 池
 水の無い窪地
移動方向等
 移動体の主移動方向
 すべり
 クリープ(匍行)
 流れ・押し出し
 落石など
 前方への傾動または傾動を伴う移動とその方向
 元の斜面傾斜と逆方向へ傾動した斜面の傾斜方向
 その他
 運急線
 活断層(地すべりを定位置させている顕著な断層)
 地層面等および節理・断層の走向・傾斜

行政区画
 44.125m
 37.00m
 44.25m
 37.00m

索引図
 小木 弥彦
 三島 三条
 柏崎 長岡
 ()内は所属20万分1図の図名
 新潟県
 1. 三島郡 2. 刈羽郡

1:50,000 出雲崎
 1000m 0 1000 2000 3000